

Enquet es about Nobi Eart hquake (1891)(Part of
Fukui Prefect ure)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鳥海, 勲, 村松, 郁榮 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/4521

濃尾地震(明治24年)のアンケート調査報告

(福井県の部)

鳥海 勲*・村松郁榮**

Enquêtes about Nobi Earthquake (1891)

(Part of Fukui Prefecture)

(Received June 15, 1977)

明治以後、最も福井県に被害を与えた地震は福井地震(昭和23年、 $M = 7.2$)であるが、明治24年根尾谷断層を伴って発生した濃尾地震($M = 8.0 \sim 8.4$)もまた福井県に災害をもたらしている。(図-1)死者12、家屋全壊1,089という数字は美濃・尾張地方の死者7,220、家屋全壊137,819に比べれば軽微であるが、これは発生した断層が県境を越え今立郡野尻にまで達しているものの人口の少ない山岳地帯であったことと関連している。(図-2)

各地の震度が地盤特性と深く関連することは福井地震でも明瞭であるが、この濃尾地震でも、図-2に示すごとく福井平野の震度は他の地区にくらべて大きい。福井地震が根尾谷断層の延長線上に起ったことはよく知られていることであり、これらを考え併せると福井県の地震災害としてはこの断層線を主体とする地震に注意しなければならないであろう。

地盤の状況は急に変るものではないから、これらの地震におけるいろいろの観察記録を集積しておくことは無意味なことではない。後述のような理由で岐阜大学村松教授のもとにこの濃尾地震のアンケートが保存され、既に岐阜・愛知県の部は印刷されたので、その福井県の部をこゝに活字にしておくことにした。

(鳥海)

岐阜大学教育学部から毎年発行されている「郷土資料」のNo.8として「濃尾地震のアンケート調査報告」を印刷する機会を得たが、こゝでは予算の都合により岐阜県と愛知県の部しか載せることができなかった。しかし、これを読まれた福井大学の鳥海教授から福井県の部も発行したいとのお申し出があり、悦んで協力させて頂くことにした。以下に、この資料の由来を記した「郷土資料(8)」のまえがきを引用して私の御挨拶としたい。

明治24年10月28日午前6時37分中部日本に発生した大地震は美濃、尾張地方に最も大きな被害を与えたので濃尾地震と名づけられた。美濃国では5,000人、尾張国では2,000人の圧死者を出している。被害は福井県、三重県でも著しく、さらに滋賀県、石川県、奈良県、大阪府、長

* 建設工学科 ** 岐阜大学教育学部

野県、静岡県にも及んでおり、北は仙台、南は鹿児島までその震動を感じた。ただし、飛騨地方ではほとんど被害がなかったようである。

このときの大地の動きを調べる目的をもって地震の約1ヶ月後にアンケート調査が行われた。現在残されているその答は1,616通あり、北海道から九州まで日本全国から寄せられている。この資料は故河角廣博士（元東京大学教授）の手元にあった。河角先生の話によれば、このアンケートを行なった人は明らかでないが貴重なものだから自分が筆写しておいたとのことであった。

今から5年前、地震研究所の紛争によって教授達は研究所に入れず、この資料も行方が分からなくなったので、私は気にかかり河角先生およびその後継者であった嶋悦三教授および研究所職員の了解を得てこれを探し出し、現在まで私の手元に保存した。

この資料は濃尾地震の影響を調べる上でまことに貴重なものであるが、当時の地名を知るのが容易でなく、河角先生もそのためにこの資料の解析を中断されていたが、私は最近「日本地図選集 明治28年3都市43県3府1庁、大日本管轄分地図、人文社蔵版（昭和43年2月1日初版）」を入手し、ここに記された都市町村名がアンケートに記された各報告地の地名と全く一致していることを知ったので、濃尾地震の詳しい震度分布図を画くことができた。各地の被害報告は様々の事象に亘っているので、この資料はさらに様々に利用されねばならぬ公共の財産である。したがって活字印刷にしておくべきだと考えていたが、たまたまここにその1部を印刷する機会を得た。予算の都合により凡てというわけにゆかないので、郷土でありかつ最も被害の大きかった岐阜県と濃尾地震の名にふさわしい隣の愛知県の部だけを印刷にする。

各報告地の位置を知る便のために、当時の郡区画図を載せた。町村字名の位置は前記の「大日本管轄分地図、人文社蔵版」を参照されたい。

最近、アンケート調査の現物が地震研究所に保存されていると聞いたので早速調べに行った。これはすべて墨で書かれた生の報告書を閉じたものであった。したがって河角先生の筆写されたものに比べてさらに膨大な量になっており、質問項目（これを表1に示す）、発送者および回集者（帝国大学総長加藤弘之）も明らかになった。

1976年11月15日

村松郁栄

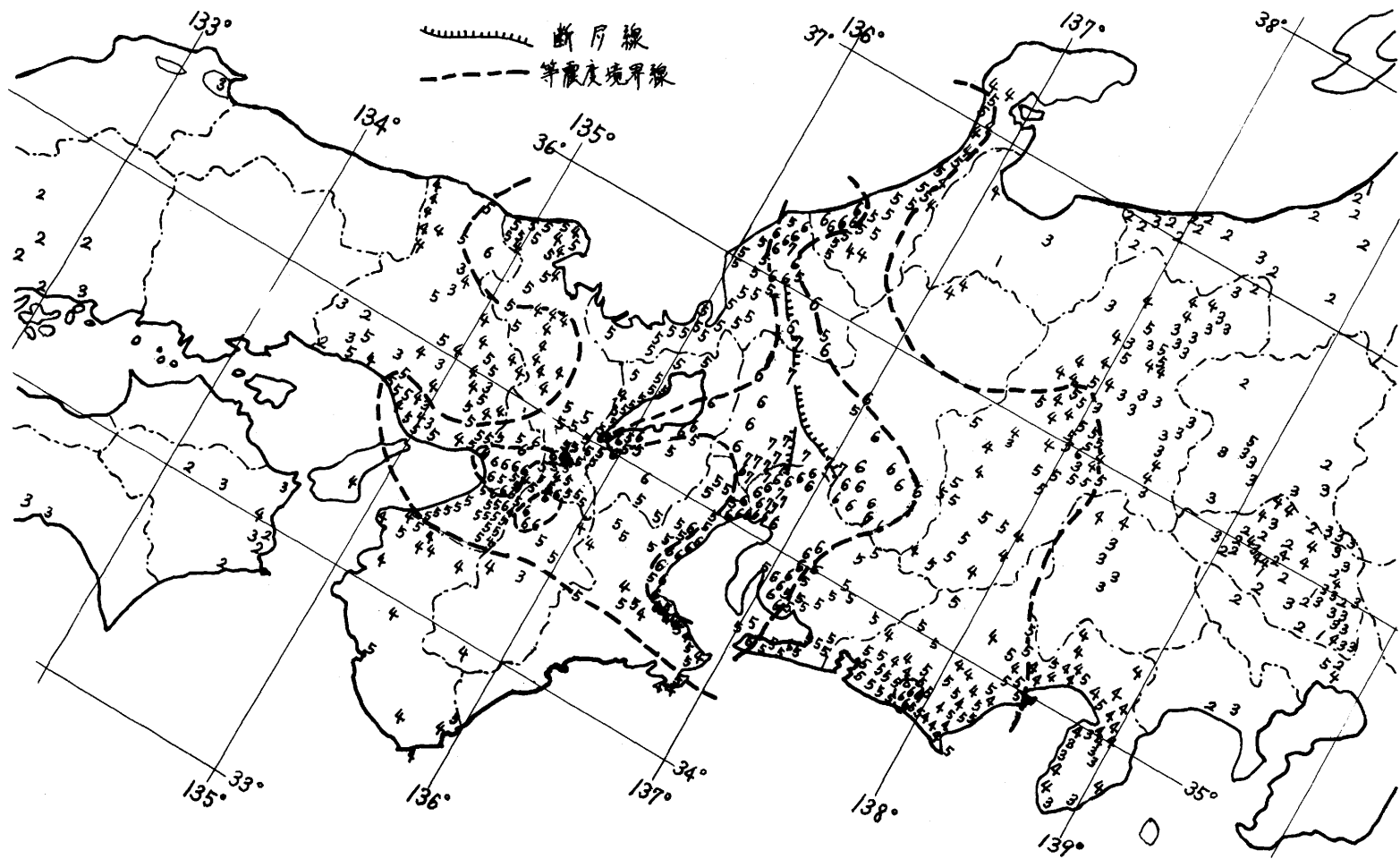


図-1 濃尾地震の震度分布 (村松)

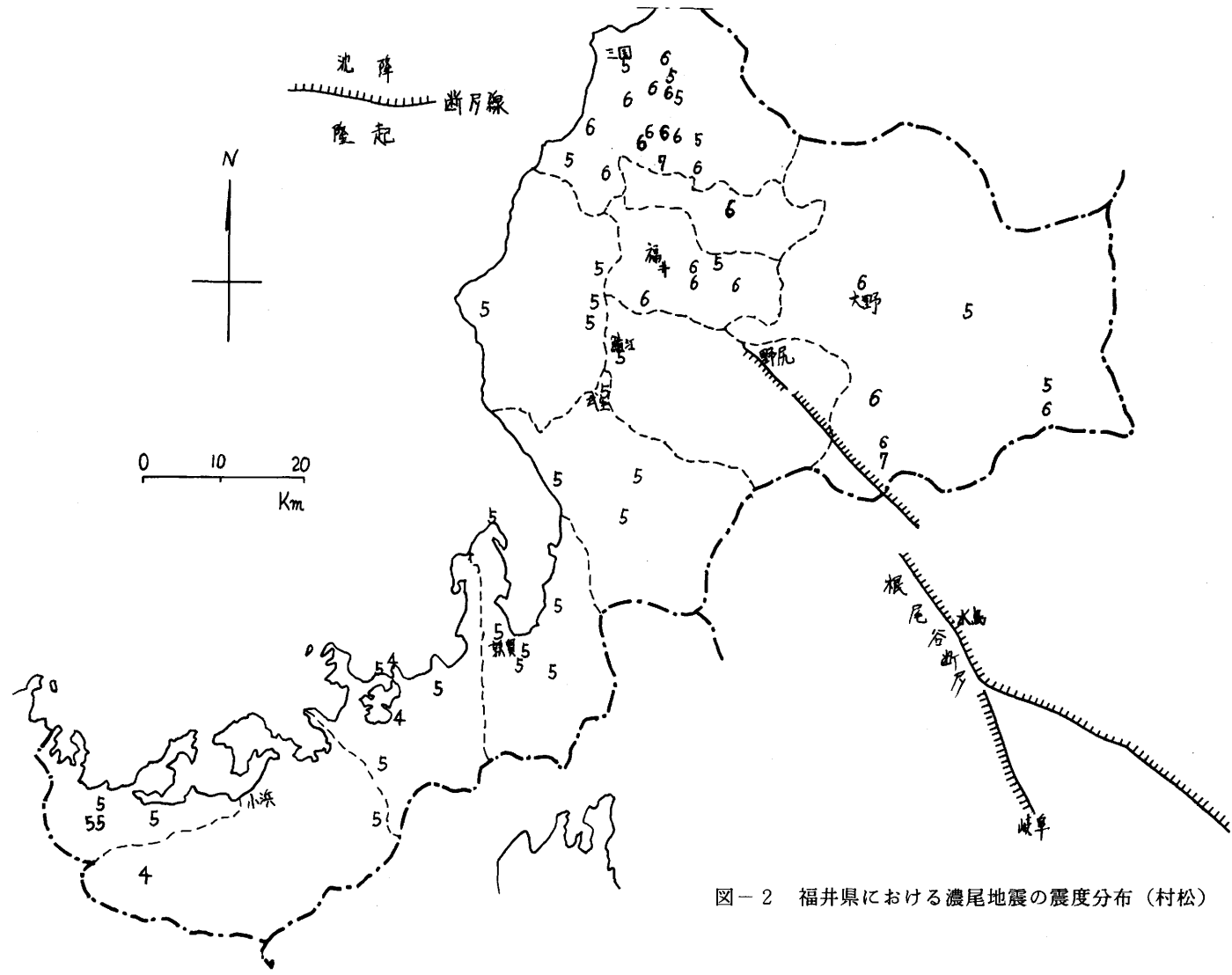


図-2 福井県における濃尾地震の震度分布 (村松)



図-3 アンケート回答者分布

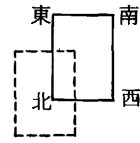
(図中の数字はアンケートNo.)

表－1 質 問 項 目

1. 観測者の所在地，報告者氏名
2. 地震の起こった時刻，余震の回数
3. 地震動の継続時間
4. 地震波の到来方向
5. 地震動揺の状況：その振幅（高さ）と波長（長さ）
6. 家屋，石灯籠の振動方向，転倒方向，動揺および被害の程度
7. 抛出された物品の高さ，抛出距離および方向
8. 池水または溜水の波動の高さ
9. 墓石，石灯籠等の台石の移動方向
10. 最激震前の微動・鳴動の到来方向
11. 街路に沿った家屋の転倒方向
12. 観測者所在地の地形・地質
13. 所在地近傍の河川・溪谷などの地形
14. 土地の隆起・陥没の状況
15. 地面虧裂の方向および大きさ（長さ，巾，深さ）
16. 堤防の被害状況
17. 井水の変化
18. 泉水の変化
19. 河水の変化
20. 水，泥，砂，蒸気，塩水，硫黄等の噴出状況
21. 動物の挙動
22. 海岸の波浪
23. 船舶の動揺状況
24. 大地震の前兆現象

267

1. 福井縣越前国足羽郡麻生津村浅水二日町 池田 弥 織
2. 午前6時40分
3. 最初5分以後数十回ナルモ漸次減縮セリ
4. 南ヨリ北ニ
5. 上下及地平ニ動搖セリ
6. 種々ナレドモ概シテ北方ニ傾斜セリ
15. 数ヶ所ノ龜裂ヲ生ゼシト雖モ灰砂ヲ噴出シテ幅及深サヲ知ルニ由ナク其ノ最長キハ3, 4間ヨリ短キハ1, 2間ナリ
17. 到ル処濁水ニ変シ増水ノ最高ハ1尺7, 8寸最低ハ7, 8寸ニシテ減水セシモノハ2尺5, 6寸乃至8, 9寸ナレドモ漸次元水ニ復セリ

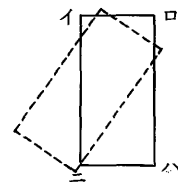


268

1. 福井縣足羽郡東郷村安原 郵便局長 高橋小左衛門
2. 午前6時35分 (餘震31, 時刻アリ)
3. 1分乃至10分
4. 西南
6. 大概東北ニ動搖シ且轉倒ス
7. 高サ凡ソ1, 2尺 距離3, 4尺
9. 東北ニ移動ス
10. 鳴動アリ其鳴動ハ大砲ノ響ニ似タリ其方向ハ西南ヨリス
20. 砂ヲ噴出セシ所2, 3ヶ所アリ
21. 牛馬ハ直ニ厩ヨリ出ツ猫犬其他家禽ハ一歩モ進マズ

269

1. 福井縣足羽郡下宇坂村市波郵便局
2. 午前6時15分 小震数回アリ
3. 6分
4. 方向ハ多分西ヨリ響キ来ル
6. 家屋ソノ他ノモノ多ク北ニ転倒ス
9. 石碑台等大凡1尺程北ニ向ケ轉位シタル所3, 4ヶ所見当リタリ
10. 27日北南ニ当リ2, 3度鳴響セリ
11. 家屋ノ倒レタルナシ
16. 石垣ノ崩壊シタル所数ヶ所アリ南北向ニ限レリ
17. 井戸水ハ半数激震ニ湧出止ミ異状ナキモ濁レリ, 但シ湧出止ミタルモ漸々元ニ復ス濁リタルモ10日間ニシテ追々清ミタリ水量ノ増加シタルハ見受ケズ
19. 河流ノ増減ハ不相覚諸川其水質ハ10日餘リ白ク濁レリ
但シ常ノ濁リハ赤色ヲ帶レドモ地震ノ際ハ白ク濁リタリ



21. 激震ノ際ハ犬猫牛ノ如キハ狼狽ノ形ヲ見ル
尚 部内ノ家屋、土蔵等ノ壁ハ響キ裂ケタル所数ヶ所アリ
今般ノ地震ハ天幸ニシテ当局部内ニ限り障害ナシト云フテ可ナリ

270

1. 福井縣足羽郡東郷村 役 場
2. 午前6時30分
餘震12、時刻アリ
3. 1分～10分
4. 北南
5. 江溝ニシテ雑鯨ノ上陸スルアリ震動ノ高低凡ソ3尺長サ6、7尺方向北南
6. 動搖ハ凡ソ2尺転倒ノ方向多分北ヨリ南ヘ轉ジ北ニ倒ル
7. 土椽柱ニシテ凡ソ3間、鐘樓堂ニシテ釣鐘ノ儘2間余、神社ニシテ4、5尺抛ゲラレ何レモ高サ5、6尺
8. 高サ凡ソ4尺方向北南芥溜ヨリ動搖ノ為メ4、5尺ヲ隔テ芥上陸ス周圍凡ソ5間
9. ——— 線 震動前
----- 線 震動後
10. 激震ノ前烈風ノ起リ来ル如ク声響シテ
方角北ノ方ヨリ来リシト思考ス
11. 街路ノ方向東西ニシテ多クハ北ニ顛覆ス南北ノ方向ハ東ヘ顛覆スルモアリ
15. 長サ凡ソ570間幅凡ソ4、5寸ヨリ1尺2寸以内深サ6、7尺方向多分北ヘ裂シ又東西ニ破裂ス
16. 長サ凡1,500間個所10ヶ所アリ
17. 井水泥砂噴出ス又水質濁水トナルモアリ或ハ減水シ甚ダシキハ土砂噴出ノタメ涸活トナル
18. 一時湧止ミシアルモ目下復旧シ新ニ湧水出セシモノナシ
19. 水量敢テ変ズルコトナシ
20. 水泥砂等噴出数ヶ所アリ
21. 牛馬頗ル驚顎シ耳ヲ立テ厩ヨリ駈出ス犬猫及ビ家禽ハ家出東西ニ奔走ス



272

1. 福井縣足羽郡酒生村字高尾 清水 吉 郎
2. 午前6時23分
3. 20秒
4. 北方ヨリ来ルト考ヘラレタリ
6. 昨年来数回ノ強震アレバ何レノタメナルカ不明ナルモ塗壁剥落多シ
8. 震動止ミテ後桶ノ水南北ニ溢出シアルヲ見タリ
大凡1間1鈎ニ釣リタル洋燈等南北ニ3、4寸振レタリ
10. 激震前20分計リニ北方ニ當リ鳴動アリタリ恰モ遠方ニ於テ大砲ヲ發セン如キ響ナリ

18. 減水セシヤニ考ヘラル
24. 前兆トスベキヲ注意考ヘ居ルニ未タ曇天ナルノミニテ他ニ無シ
(昨年来ノ地震何レモ曇天ナル故)

273

1. 福井縣吉田郡松岡村毘沙門 松井五兵衛
2. 午前6時30分
3. 10分間 該激震後1分後震動數回
4. 東北 西南

1. 福井縣吉田郡松岡村室 玉木進
5. 地上ニ波浪状ノ震動アリ高低5寸長サ50間

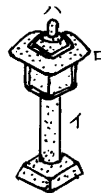
1. 福井縣吉田郡松岡村毘沙門 玉木進
6. 石燈籠転倒西南へ転倒ス

但シイハ西

ロハ西南

ハハ南

右石燈籠4個共圖様ニ転倒ス



1. 福井縣吉田郡松岡村毘沙門 松井五兵衛
8. 圖ノ如キ水溜波動高サ4尺
西ヨリ北ヲ廻リ波動ス但口ヨリ六寸スキ
12. 市内ハ地質粘土ニシテ山地ニ添フ高低地ニ候



1. 福井縣吉田郡 字上中 松井五兵衛
15. 河添ニ道路虧裂長サ50間 幅8寸 深5尺 方向東西30間ニシテ3ヶ所

1. 福井縣吉田郡松岡村ニ沿フ九頭滝川 青木初吉
19. 九頭滝川水量5寸程減 流水ヲ掩滯 波動ス

1. 福井縣吉田郡円山東村 玉木進
6. 家屋倒レハ(ユガミ)東ノ方へ, 顛覆ハ西ノ方へ

1. 福井縣吉田郡松岡村室 玉木進
発震ノ際ハ遠見甚タ近ク相見え直径2里余ヲ10町斗リニ見受ケ候

274

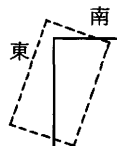
1. 福井縣坂井郡濱四郷村 役 場
2. 午前6時30分
餘震アリ
3. 6分
4. 西ヨリ東
5. 震動ノ高低ハ5寸内外ニシテ長3尺以内
6. 家屋転倒東北ニシテ石塔籠ノ動搖ハ北方又ハ西方ナリ
10. 鳴響ハ山林ヲ暴風ガ通りシ如ク方角ハ各所ニヨリ異ナリ大概西南ノ間ヨリ来タリシト思考ス
14. 土地ノ隆起陥没及虧裂ヲ記セシ略圖別紙圖面ノ通り
15. 別紙圖面ノ通りニシテ深サ3尺乃至5尺長短ハ5, 60間ヨリ4, 500間幅ハ2尺ヨリ3尺位
17. 井水砂ヲ噴出シ又所々ニヨリテ濁水トナリタルモノアリ
18. 泉水閉塞トナル
20. 虧裂ヨリ泥水又ハ砂ヲ噴出シタリ
23. 震動中ハ航海船ハ進行セズ又船体ハ常ニ搖レルモノナレバ鳴動ヲ覺エズ

275

1. 福井縣坂井郡春江村為國 役場 村長 久保庄太郎
2. 午前6時40分
8. 池ノ波動ハ東西ニ搖リ其波動ノ高サ7, 8寸ニ及ビ池ノ周圍東西2間南北1間
10. 遠雷ノ激鳴ノ響ニシテ乾ノ方ヨリ来タリシト考フ
15. 地面虧裂ノ長サ5, 6間ヨリ17, 8間程ナリ
20. 青砂ヲ所々噴出セシナリ
24. 該激震ノ前ハ諸々ノ魚類淺瀬ニ浮ビ非常ニ彷徨シタリ

276

1. 福井縣坂井郡兵庫村上兵庫役場 高橋新左エ門
2. 午前6時40分 最大激震其後全日中ニ6, 7回震動セリ
3. 4分間
4. 西北ヨリ東南へ
5. 地上ニ波動状ノ震動ナシ 平地ニ凡ソ曲尺3, 4寸ノ高低起伏ヲ顯ハシ4分時間ニテ原形ニ復セリ
6. 家屋其他石燈籠ノ動搖ハ西北ヨリ東南へ又転倒ノ方向ハ圖面ノ如シ点線ハ震動後ノ位置
10. 最激震ノ前ニ微動アリ又震動前ニハ必ず西



北ヨリ大風ノ如キ響聲ノ来ルヲ感ゼリ

19. 河水ノ測岸ニ打擲セラシテ濁水トナリシヲ見タリ
24. 激震3, 4日前ヨリノ氣候ハ華氏凡57, 8度ナリキ

277

1. 福井縣坂井郡金津町 伊 藤 辰 二
2. 午前6時55分
3. 7分
4. 東南ヨリ起ル
6. 石燈籠等ノ轉倒ノ方向 西南
10. 最激震ノ前10月25日午後9時45分震動アリ全26日午後10時頃微動全27日午後8時頃微動アリ26, 7ノ兩日ハ甚シク地下鳴動シテ何レモ東南ヨリ起リシト考フ
17. 井水ハ一時濁水トナリシモノ7個アリシモ僅カニ3, 4日ニシテ元ニ復シタリ
24. 震動ノ前兆トモ考フルハ激震4, 5日前ヨリ本町3百有余ノ井戸何レモ大イニ減水シ数日ヲ徑テ旧ニ復シタリ

278

1. 福井縣坂井郡蘆原村 役場 小 泉 惣 治 郎
2. 午前6時30分
(餘震70回)
3. 3分間
4. 北西ノ方
6. 村内家屋全潰2戸, 半潰7戸ニシテ転倒概ネ西ノ方ニ倒ル
10. 鳴動アリ此響恰モ卒然トシテ大風ノ興ル如ニシテ東南ニ向ケ動揚ス

279

1. 福井縣坂井郡丸岡町霞六番地 小 野 良 知
2. 午前6時40分
其後數回震動アルモ時刻記憶セズ
3. 稍ヤ15分間
4. 東北隅ニ當リ鳴動シ来ルヲ覺ユ
6. 家屋其他石燈籠等ノ動搖ハ東西ニシテ転倒セシ家屋ナシト雖モ傾向線ヲナシ半潰ノ異状トナル家屋數戸アリ
10. 最激震ノ前ニ微動セシハ全月26日午後10時頃1回アリ鳴動方角等氣臆セズ
24. 震動ノ前兆ナシト雖モ鴉声ノ哀啼頻リナルヲ感ズ

280

1. 福井縣坂井郡棗村小幡 牧 野 左 傳

2. 午前6時30分
 其后微動百回餘
3. 7分20秒
4. 南北
5. 波浪状ノ震動ニシテ高低一步ニ一寸，長短不記 方向ハ南北
6. 南北
10. 俄然疾風ノ来ルガ如キ鳴動ニテ其方向ハ北ヨリスト考フ
15. 長サ52間 巾2尺 深サ1丈余，方向ハ西南ヨリ東北ニ至ル
17. 井ノ水増加スルコト8尺爾後減水ス然レ共今ニ濁リテ澄マズ井水噴出シテ濁水トナル
 水量ヲ増スコト8尺
20. 虧裂ノ個所及隆起ノ所ヨリ泥水ヲ噴出ス
21. 強震1兩日前ヨリ鴉家禽ノ鳴常ニ異ナルヲ以テ古老ハ天変地異ノ前兆トス

281

1. 福井縣坂井郡鷹巣村長 石川良作
2. 午前6時40分 強震
 (餘震アリ時刻アリ)
3. 3分
4. 東南 西北
15. 長サ6，7間，幅1，2寸，深サ5，6寸 方向南北ノ虧裂3ヶ所アリ
18. 泉水少シク減量セシモ2，3日ニシテ復回セリ
22. 海岸稍浪波起レリ

282

1. 福井縣坂井郡東十郷村 澤崎弥左エ門
6. 家屋其他石燈籠，石塔等ハ皆動搖セリ
8. 井ノ水ニハ波動アリタリ
15. 地面ノ虧裂ノ長サ2尺以下幅3寸
19. 河流ノ水量ハ増シタリ
20. 虧裂ヨリ青砂ヲ噴出シタリ
 尚震動ノ際ハ精神洵々トシテ其詳細ヲ認メ難シ

283

1. 福井縣坂井郡木部村高柳 役 場
2. 午前6時頃
 其後今日ニ到モ日夜数回或ハ1回ノ大小震動アルモ其時刻ハ記憶セズ
3. 5分
4. 辰巳ノ方ヨリ起ル

6. 家屋動搖及転倒ノ方向西北
10. 最激震ノ前微動アリシハ10月25日午後第1時
15. 地面虧裂南北長60間深サ4尺乃至2尺
17. 大震ノ際ハ当村擧テ井水濁リヲ呈セシモ7週日ヲ徑テ漸次旧ニ復ス

284

1. 福井縣坂井郡大石村大牧 川地 宏
2. 午前6時
其後1時間毎ニ1回亦29日ヨリハ1時間乃至2, 3時間或ハ隔日ノ内ニ激震亦微震ア
3. 3分乃至4分
4. 西北ノ一隅ヨリ東南ヘ延ベリ
6. 東南ノ方
10. 10月27日午後10時微震1回西北ヨリ来ル
15. 虧裂方ハ南北ヘカケ長サ5百餘間ニシテ幅ハ廣キハ5尺狭キハ3尺ニシテ深サ4尺ナリ
17. 井水青砂等ヲ噴出セシケ所30ヶ所アリ
20. 虧裂ヨリ泥砂及枯木ノ小ナルモノヲ噴出ス

285

1. 福井縣坂井郡大安手村役場 時沢平治エ門
2. 午前6時30分
(餘震9, 時刻アリ)
3. 5分
4. 西南
6. 石燈籠転倒東南ノ方エ
16. 築堤ノ崩壞セシケ所長サ66間, 巾8尺, 抗籬長60間, 巾3尺, 古片枠60間, 巾6尺, 石枠長14間, 巾9尺, 石枠長7間3尺, 巾1尺5寸, 石枠長5間, 巾6尺

286

1. 福井縣坂井郡本荘村上番 村長 島崎 精
2. 午前6時40分
3. 5分
4. 北西ヨリ南東
6. 北西ヨリ南東ヘ向ケ動搖シ南東ヘ転倒セリ
10. 激震前ニ恰モ颶風ノ如キ響ヲナシ其鳴動轟然トシテ北西ヨリ来リシト考フ
17. 井水変ジテ濁水トナル
24. 震動ノ前兆トナスベキモノナク該日黎明ヨリ天色朦朧タリ

287

1. 福井縣坂井郡三國町 近藤九三郎
2. 午前6時30分(40分)
(餘震42, 時刻アリ)
3. 強震ハ5分間或ハ4分間
4. 南北ナリ
5. 強震アル毎ニ必地上ニ波浪ノ状ヲ觀ル概ネ長サ10尺ニツキ高サ1寸, 弱震ハ長サ10尺ニ付高3分位ナリ
(是ハ建物間ノ動搖ニヨリテ考察セシモノナリ方向ハ南ヨリ起リ北ヘ流ル)
6. 家屋ハ倒潰セシモノナシ雖大字滝谷三十七番地河岸ノ石櫓(高サ7尺, 長サ10尺)崩壞シ為メニ小亭ノ一体大破セリ, 又大字喜實七十一番地陶器匠札場半次郎ナルモノノ油煮窯及磯場管大破中ニ就リ本焼ノ最中強震ニ觸レタルヲ以テ窯裡ノ棚落下シ数千ノ油煮悉ク瓦屑ニ層セリ
石燈籠ノ転倒セシモノ三ヶ所ニシテ其数7, 方向何レモ南北ナリ
8. 大字口一番地(觀測場ノ裏手ナリ)ニ小池アリ強震ノ際本項ヘ掲記スベキ程ノ著キ波動ハアラザリシガ俄然漣起發シ為メニ打驚キタルカ水上ニ躍居タル鯉, 鮒, 石亀ノ類一同ニ水底ニ潜ミタルヲ視ル池ノ形状ハ瓢ノ如ク(巾三間, 長十間余)位置東西周圍30間又タ当町人民ノ在所ハ丘陵ノ如キ土地多ケレバ井戸ノ深サ20尺乃至30尺ノモノ夥多ナリ為ニ井水ノ波動ヲ觀測スルニ由ナシ
10. 強震3日前即チ第二項ニ記セシ如ク10月25日午後9時30分ニ1回ノ弱震ヲ發シタリ
方角ハ南ヨリ来リテ北ヘ往キ其他鳴動ナシ
15. 字ノ切り長サ20間余巾7尺深サ3尺方向東南ノ間ヨリ西北ニ至ル
16. 字道実長サ30間巾3間
17. 2, 3ノ井水淡濁ヲ生ゼシモノアリシモ敢テ障害ナケレバ飲料ニ差支ヘシ事ナシ
19. 28日強震ノ際九頭龍川ノ末大字汐見ノ下流ニ附屬洲アリ之レガ陥没スル如ク水上ニ泡沫噴出シ黄色ヲ帶タル濁ヲ生ジ恰モ出水ヲ視ルニ髣髴タリシ
20. 第15項ニ示シタル虧裂口ヨリ砂ヲ噴出シ兩測トモ蟻ノ塔ヲ組ミ掘ヲ築キタルニ似タリ
21. 当地ニ牛馬ナシ強震ノ際犬ハ遠吠ヲ發シ鴉喧轉シ又猫ハ驚愕シテカ多クハ床下ニ哭キ入シテ視タリ
22. 三國灘海岸ニ於テ激浪起リ水量ヲ増シタルモノカ潮溯リ港銚子口ヨリ河水ハ混和シ為メニ河波烈シク碇泊ノ商船數百艘各碇綱ヲ増シ時變ヲ凌クノ備準ヲ為レタリ
23. 大字滝谷前田閑所有ノ西洋形汽船三國丸ハ10月28日午前2時当港ヲ拔錨石川縣金石港ヘ向ケ航海中全6時40分当郡雄島村字安島沖合ニ於テ圖ラザリキ暗礁ニ衝突セシト船長始水夫一統驚愕狼狽シ扱遺憾ヤ過チタリト同音ヲ發シタリ其時俄然怒濤ノ起ルト同時ニ進行ヲ始メタリ是ニ於テ全ク地震ノ所為ナラント覺悟セリ少シク怒濤靜マリシガ到底金石ニ達スルノ見込ミナク辛ジテ帰港セリト其他船舶ニ異状ナシ
24. 第二項ニ記載セシ如ク其他ニ著キ前兆ナシ

288

1. 福井縣坂井郡本荘村東善寺区 江川 惣之助

2. 午前6時50分大震

(餘震數回アリ 時刻アリ)

3. 8分40秒

4. 西(少シ戌亥ノ方)ヨリ東(少シ辰巳ノ方)ニ向テ震動シタリ

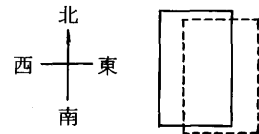
5. 地上ノ波浪状甚ダ聊カニシテ尺度ハ僅カニ5, 6寸位ニシテ方向ハ西ノ方(少シ戌亥ノ方)ヨリ吹キシ風ノ水波ニ於ケルガ如シ右トテ目立チタル状モナケレバ大低地平動ト云フモ可ナリ

6. 家屋石燈籠等転倒ノ方向ハ一定ナラズ然レドモ概シテ東ニ倒レシモノ其半數ヲ点メ居レリ其他動搖セシモノハ大低皆故ノ礎基ヨリ多キハ8寸少キハ2, 3寸東ノ方ヘ移動シタリ但シ移動セザルモノハ百戸ニ一戸モナキ位ナリ

7. 抛出サレシモノトテハ別ニ甚シキモノナシ只ランプ台(丈ケガ1尺5寸)ヨリランプガ2尺2, 3寸ノ距離ニ抛ゲラレ甚シキ破壊ナリ, 後ニ又其ランプ台モ倒レシ位ナリ

8. 池杯ノ波動ノ甚シキハ誠ニ驚クベク其波動ノ高サ5, 6尺ニシテ池ノ周圍(円形ニテ周圍15間)4尺通りハ甚濡濕タリ然レドモ方向ハ何レモ定メラズ而シ其他井ナドハ格別ノ波動ナカリシ

9. 石碑等ハ倒レシモノ(東ノ方)ヲ除ク外大抵左圖ノ如ク移動シタリ(但シ石碑ナドノ凹凸ヲ以テ仕組シモノナレバ十中ノ五ハ原位ノマヽナリ)



10. 最モ激震ノ70時間程前ニ微震2度アリテ激震20分間前ニハ辰巳ノ方ニハ「ゴーウ」トシタル鳴動遠音ニ聞ヘ5分間前ヨリ戌亥ノ方ヨリ「ゴーウゾーウ〜」トシタル鳴動將ニ追ハントスルガ如ク聞ヘテ激動終ルマデ止マザリシ

17. 井水ハ該地方固ヨリ掘井ノミナレバ別ニ水量ハ増セント云フニ足ラズ亦水質ハ甚ダ微密ニ濁リシト見エテ幾度カ砂ニテ越サシメ清メントスレド常ノ如ク清水ナラザリキ但シ50日ヲ経シ後ハ常ノ如クナリタリ

18. 泉水ハ幾分ノ水量ヲ増シタリ

19. 河流ノ水量モ増シタル如シ

21. 激震ノ際ニハ馬ハ嘶キ猫等ハ甚ダ震動ノ感覺早キモノト見エテ震動セントスルヤ否ヤ周章シテ家内ヲ飛ビ去リ地上ニ伏シ居タリ亦家禽モ全ジク家ヲ出デ、地上ニ伏ス

24. 激震ノ時地上薄キ霞ノ如キアリテ虚空ノ雲ニハ聊ノ動様ナク禽鳥ハ為メニ羽翼ノ働キヲ失ヒシト見ヘテ空ヨリ落ちシモノアリタリ

別紙圖面ノ如ク該本荘村東善寺区ヲ隔ツル戌亥ノ方一里ニシテ一面ノ沼田中ニ昔ヨリ葦ヲ以テ生ヒ茂リタル所去ル明治17年ヲ以テ開拓シ始メテ湧出シタル坂井郡葦原温泉所ノ如キハ震動ハ別柵ト同様ニシテ家屋ノ倒レシモノナカリシガ其温泉温度平常ハ華氏寒暖140度位ナルニ激震後ハ160度以上ニシテ湧出セルコト平常ニ倍セリト

又別紙圖面ノ如ク該東善寺ヲ丑寅ニ距ツル6町ニテ竹田川ノ兩岸ニ跨ル市街ナル金津町ハ

川ノ南岸ナル方ハ震動易クシテ石燈籠ノ倒レシモ甚ダ稀ニシテ況テ家屋ニハ変リナカリシガ然ルニ川ノ北岸ナル方ハ震動モ甚シク家屋ノ倒レシモノ2戸其外夥シキ異変ナリシ是レ如何ナル故ナルカ確然ナラザレドモ其南岸ナル方ハ眞土ニシテ北岸ナル方ハ砂土ナルガ故ナラント地方ノ人ハ言ヒ居レリ

又別紙ノ如ク該東善寺ヨリ十町ヲ距テ北方ノ山岳中ニ在ル山村ハ概シテ震動甚ダ僅カニシテ28日ノ激震ニモ家ヨリ逃出シモノハ10人ニ3人位ニテ大抵家ヲ出ザルト言フモ可ナリト云フノ況ニシテ家屋ノ害ハ甚ダ少ナカリシト

又該東善寺ヨリ一面田地ヲ隔テ、未申(少シ南ノ方)二里余ニアル表庫村春江村辺ハ震動殊ニ甚シク全国屈指ノ被害所ニシテ地面ハ東西ニ裂シコト、幅6寸、長サ1間或ハ1間半余ノ裂目ヨリ青キ小砂ヲ噴キ出シ天地茫然トシテ霞ノ如クメキンメキント家屋ノ倒ル、モノ禽鳥ノ虚空ヨリ落ルモノ逆モ名状スベカラザル有様ナリキ

以上以テ当阪井郡辺ハ南ニ登ルニ随ヒ震動甚シク北ニ行クニ随ヒ震動次第ニ甚シカラザリシコト推シテ知ル可ク小生ノ見聞上符合スルハ10中8、9ナリ

289

1. 福井縣大野郡大野町 大野警察署
 2. 午前7時15分(當時当署ニ備付ノ時計ハ他地方ノ針時ヨリ大約30分時早シ)
(餘震 強震14 小弱震95 アリ)
 3. 5分
 4. 西北
 5. 波浪状ニアラズ平般ニシテ震動ノ將ニ止絶セントスルニ当リーノ劇甚ナル反震ヲ来ス
 6. 家屋其他建造物樹木及ビ石塔ノ傾斜又ハ顛倒セシ方向ハ概ネ北西ノ間ニ向ヘルモ稀レニ東西ニ向フモノアリ而シテソノ顛倒又ハ傾斜ノ害ヲ被リタルハ擧ゲテ28日午前7時15分即チ初回大震動ノ時ニ在リテ其方向ノ西北ニ向ヒシハ地形盡ク西北方ノ低キト反震動ノ劇烈ナリシトニ固クナランカ
 10. 西北ノ方ヨリ轟然鳴動ヲ發シ大約3分時ニ達スルヤ同方向ヨリ最モ激烈ナル一大震動ヲ起セリ
 17. 通俗清水ト称スル湧水ハ28日午前7時15分大震動起ルトトモニ赤色ノ泥土又ハ赤色ノ鑛氣ヲ帶ビタル塵子ノ如キ汚物ヲ混ジツツ噴出シ當時飲用ニ耐ヘザリシモ早キハ同日午前11時遅キハ同日午後1時ニ到リ原質ナル浄水ニ復セリ又井水ハ早キハ11月20日頃遅キハ全月26日頃ヨリ或ハ減水ヲ告ケ或ハ泥土ヲ混ジ赤色ニ汚濁セリ而シテ其原水ニ復センハ早キハ12月3、4日頃遅キハ全月6、7日頃ナリシモ其中最モ甚シキモノハ10月28日大震動後ニ句経雖回復セザルニ因リ井水ノ後換ヘ及ビ井戸ノ掃除方ヲ行ヒ浄水ニ復シタルモノ亦寡シトセズ
- 大野郡上荘村及下荘村ニ於ケル井水ノ多クハ早キハ11月20日頃遅キハ同月23、4日頃ヨリ擧ゲテ減水又ハ涸渴セシモ爾後一句餘日内ニ於テ多ク回復セリ然レドモ著シキ涸渴後幾10日ヲ經レドモ更ニ湧出セズ恰モ水脈ヲ絶チタルモノノ如キ觀ヲ呈シ之ガ為メ更ニ地ヲ掘ビ井戸ヲ掘鑿セシモノアリ

21. 25, 6日頃ノ間ハ夜深更ニ到リ畜犬著シク遠吠スルヲ聞キシモ他ノ禽獸ニアリテハ聊カモ変状ヲ感ゼズ

1. 福井縣大野郡西谷村温見及熊河 大野警察署

福井縣越前国大野郡西谷村字熊河及全村温見地籍中多ク山地ニシテ其間多少平坦ナル路道畑地ヲ有スル土地大凡3里間東南ヨリ西北ノ方向ヲ以テ廣キハ4尺狭キハ8寸ノ裂線貫通セリ尤モ間々亀裂線ニ止ルモノアリ或ハ該裂線ハ丘阜等ニ際會セバ其線ヲ失スルガ如キモ丘阜ヲ越フレバ又其裂線方向ヲ失セズシテ存在セリ

同熊河民家所在地ヲ距ル5, 6町平面ナル畑地ニ於テ2個ノ陥没所ヲ生ジ1ツ長サ2間3尺, 巾2間, 深サ7尺他ノ1ハ方5尺深サ4尺ニシテ何レモ地上表面ニ変状ヲ呈セズ原面ノ儘陥没セリ又同畑地長(東ヨリ西ニ向フ)4尺, 巾1尺2寸計破裂セリ又同人家所在地ナル平地長(東南ヨリ西北ニ向フ)90間巾20間計リ5尺ノ高サニ隆起セリ

同温見人家所在地ノ平地中長サ50間巾20間計ノ間西北方ヨリ東南ノ方ニ向ヒ9尺ヲ隔テ、移動セリ此移動タル近邊ニ其類ヲ見ザル一奇変ニシテ其長巾ノ間ニ於テ上表一面ヲ現ハシ他ハ悉ク土下ニ埋マレアル長8尺巾9尺厚サ8尺計ノ岩石一個ヲモ地ノ移動ト共ニ同方向ヲ以テ移動セリ又同平地長(東南方ヨリ西北ニ向フ)80間巾20間計リ5尺ノ高サニ隆起セリ

同熊河温見ハ二部落共山ノ谿間ニ位シ地層厚ク地質ハ岩石砂礫及粘土等ノ混合ヨリ構成シ熊河ハ東南ヲ山崖トシ西北方ヲ川トシ温見ハ東北方ヲ山崖西南ヲ川トシ何レモ川ト山トノ間ニ部落ヲ構ヘ其地形ハ概ネ平坦ニシテ川方ハ山方ニ比スレバ稍低下ノ位置ヲ保テリ而シテ2部落共ニ家屋其他建造物ノ顛倒又ハ傾斜セシ方向ハ多ク西北方ニ向ヘリ又震動ノ起因セシ方向ハ東南ヨリ西北方ニ向ヘリト言フ

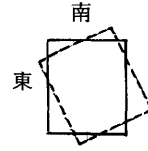
以上温見及熊河ノ変状ハ皆10月28日大震動ノ際ニ起リタルモノニシテ此2部落ニ於テハ大野町ニ於ケル如ク其激震ニ先タチ敢テ鳴動或ハ微動ヲ聞カズ直ニ震動ヲ感ゼシト言フ

290

1. 福井縣大野郡上穴馬村 面谷 郵便局長 岡 理右エ門
2. 午前7時2分
(餘震數回アリ)
3. 最初激震ハ3分間, 他ハ1分以下ナリ
4. 西北ヨリ起リテ東南ニ向フ
5. 波浪状ノ震動アリ其高低ハ高キハ2尺2, 3寸低キハ2, 3寸ニ止ル尤モ觀測地ハ土地平坦ナラザルヲ以テ石垣等ニ積ミ上ニ家屋在ルヲ以テ右高低ノ差多シ且長キハ20間余, 短

キハ4, 5間ナリ方向ハ西北ヨリ東南ニ向フ

6. 石垣等動搖シテ沈ミ或ハ破壊ス且石燈籠転倒ノ方向ハ東南ナリ
7. 観測地ハ屋上所々ニ石ヲ並ベ以テ屋根押トス該石凡ソ高サ1丈2尺余, 距離凡ソ5尺ナリ
9. 圖ノ如クニシテ東南ニ移動ス
10. 鳴動ハ仮令ハ空氣ノ動搖スルガ如キ響ヲナシ其方向ハ東南ヨリ来リシト考フ
15. 山地虧裂ノ巾50間許リ高70間許リ方向ハ西ヨリ東ナリ
19. 一時ハ洪水ノトキト同ジク水量増シ水色黒赤色ニ変ゼリ其他鉾山坑中ノ異動ハ震動ヨリ后ハ水量ヲ増スコト2倍坑内震動中ノ鳴動ハ平地ノ鳴動ヨリ大ナリ



291

1. 福井縣大野郡坂谷村五ヶ村兩村内 伏石郵便局長 宮崎四郎左エ門
2. 午前7時頃
(餘震22回)
3. 4分間 其後平均2分間ナリ
4. 西北ヨリ東南
6. 震動ノ為メ土藏21棟 壁土崩落其他家屋ニハ障害ナシ
14. 当郡街道即チ美濃道筋中5ヶ村西勝原地籍字三熊ト称スル所道路100間許リ欠落セリ又同線路西勝原ヨリ湯上ニ至ル迄ノ内ニ石垣等ノ処々破壊アリ
15. 地面虧裂ノヶ所ナシ乍併当郡五ヶ村上打波人民川崎卯藏弟七之助ナルモノ山畑作付穀物取入レノタメ全村東勝原地籍字山崎山へ出作致居候処要向アリテ東勝原迄出行カント全所ヨリ出立致候ニ間モナク激震ニ遭遇シ途中山上ヨリ土砂岩石等類リニ陥落シ立退クノ暇ナクタメニ惨酷ノ甚シキ絶命シ至リタリ
19. 山間ヨリ湧出スル谷川ニ於テ震動ノタメ18時間許リ水色変ジ濁水トナレリ
21. 牛馬犬猫家禽ニ至ル迄震動中東奔西走進退極マリ甚ダ驚愕ノ状ニテ即日馬鳴ノ声ヲキカズ
24. 震動ノ前兆ト考ヘシモノニハ其2, 3日前ヨリ雉子鳥ノ乱リニ鳴クヲ覺ユ

292

1. 福井縣大野郡坂谷村五ヶ村東勝原 田 中 □
2. 午前7時頃
(其日餘震18回アリ)
3. 激動時間4分間 其后平2分時ナリ
4. 北ヨリ西方へ震動ス
6. 震動ノ為メ土藏21棟土藏崩壞其他家屋ニハ障碍ナシ
11. 街路ニ家屋ノ倒レシハナケレドモ当郡五ヶ村西勝原ヨリ小字湯上迄ノ道路石垣等処々破壊セリ
17. 山間ヨリ湧出スル清水ハ震動ノ為メ16時間斗リ水色変ジ泥濁水トナリタリ

大野郡五箇村大字上打波川崎卯藏ナル者全村大字東勝原小字山崎山へ近来出作致居シガ右弟七之助打波へ荷物運搬セントテ其宅ヨリ東勝原へ達スル途中ニ岩石延長 200 間幅 80 間、常ニ甚ダ危険ナリ折悪敷去ル 28 日大地震ニ際シ右岩壁転落シ為メ変死セリ慘酷ノ甚シキ至リナラズヤ

293

1. 福井縣大野郡上穴馬村大谷 村長 三島又右エ門
2. 午前 7 時
(時々餘震アレドモ時刻不詳)
3. 3 分間
4. 西ヨリ震フテ東ニ向フ
5. 波浪状ノ震動アリ其高低ハ大凡 3 寸斗リ方向ハ西ヨリ東ヘ向フ
6. 石燈東南ヘ倒ル
10. 鳴動ハ從ヘバ空氣ノ動搖スルガ如キ響ヲナシ其方向ハ西南ヨリ来リシト考フ
15. 山地虧裂ノ幅 50 間高 70 間方向ハ東西
16. 崩壞セシモノアリ 但 14 ケ所
17. 井水濁ルノ異変アリ
18. 濁ルノ異変アリ

鉦山坑中ノ異動ハ震動ヨリ后ハ以前ヨリ水量ヲ増スコト 2 倍坑内ノ震動中ノ鳴動ハ平地ノ鳴動ヨリ大ナリ

294

1. 福井縣大野郡西谷村温見 全村中島郵便局 山本彦左エ門
2. 午前 6 時 30 分頃
(餘震数回アリ) 餘震ノ震動時間ハ 2 分或ハ 3 分平均凡ソ 1 分 50 秒
3. 7 分間
4. 東南
5. 岐阜縣本巢郡能郷白山乃チ権権山ヨリ山麓ヲ沿ヒ虹ノ形ノ如ク湾曲シテ温見ノ上手 2 丁ニテ温見熊河ヲ徑テ本縣今立郡美濃股峠ニテ一直線ニ波動状ヲ顯シ高キハ 4, 5 尺低キハ 4 尺斗リニシテ雖モ延長凡ソ 5 里 18 丁余ノ間ニシテ方向ハ東南ヨリ西北ニ達セリ又一線ハ右温見ノ 2 丁程上手ヨリ巢原ヲ經テ上庄村宝慶寺ニ一直線ニ達ス其状高キハ平均 2 尺低キハ 3 尺斗リニシテ此延長凡 6 里 11 丁餘ニシテ方向ハ西北ノ間ニ貫達セリ
6. 家屋ノ全潰転倒ハスベテ西北ノ方ニ抛レリ
7. 巾 4 尺 5 寸長サ 6 尺斗リノ岩石地盤ト共ニ 9 尺斗リ東南ノ方ニ向ケ抛ケラレタリ
8. 井ノ水ノ波動ハ凡ソ 3 尺斗リモ飛揚リタリ湖, 池等ハ無之
10. 最激震ノ前即チ 10 月 25 日午後 11 時頃激震アリタレドモ鳴動シタルコトナシ方角ハ東ト考ヘラル

11. 家屋ノ転覆ハ西北ナリ当村温見熊河ハ最モ山間僻東一少村落ナレバ街路ト云フ程ノモノナシ
14. 波動虧裂及山嶽崩壊セシ異圖モ亦前(13)ノ圖ニアリ
15. 地面虧裂ハ前紙圖面ニ記セシ如ク波動線ハコレ皆虧裂セリ而シテ美濃権現山ヨリ温見熊河ヲ經テ今立郡美濃股峠ニ達シタル線ハ車ノ両輪ノ如ク両測二線ニ分レ其幅平均4間余ニシテ劈裂シタル1線ノ幅ハ平均2尺深サ平均4尺ニシテ方向ハ東南ヨリ西北ニ向ッテ劈裂セリ又温見ヨリ巢原ヲ經テ上庄村宝慶寺ニ達シタル波動虧裂線ハ幅4, 5寸深サ平均3尺ニシテ延長ハ6里11町余ナリ
18. 濁水ニ変ジタリ
19. 水量ニ異動無之然レドモ白色ヲ帯ビタル濁水トナリ此頃ハ全ク元ニ復セリ
20. 熊河ノ式丁程下手ニ在ル即チ波浪虧裂線ヨリ茶色ノ如キ水ヲ一時噴出セシコトアリシ
21. 牛馬ハ震動毎ニ驚キアバレ牛ハ頻リニ吼タリ
24. 別段前兆トナルベキモノナシ只最震動ノ前一週間前ヨリ鳥ノ群集シテ鳴ク頻リナリ亦牛ノ如キモ震動前夜ニ吼タルコト甚激人々奇異ノ懷ヲナシ且氣候ノ暖和ナルコト平常ニ異ナリ兩三日以前ヨリ雨氣ヲ含ミ居タルト思ハレタリ

鉾山坑内ト平地トハ甚敷差違無之尚当村大字中島地籍高屋鉾山ノ坑内70尺斗リ陥没シ其他ノ鉾山ハ変異無之

295

1. 福井縣大野郡西谷村温見熊河 中島小学校訓導 天立 富
但シ明治24年10月地震凶災ニ罹リ最モ禍烈ヲ被ムル地ハ温見, 熊河ト認ムレバ此地ヲ以テ観測ノ場所トスレバ其地震震動ノ方向及ビ距離等概ネ此地ヨリ指シ示スモノトス然シテ答案者地震ノ際此ノ地不在ナレバ即チ模様事實ヲ答案スルニ方リ観測所ノ住民ニヨリ之ヲ問ヒ質シテ此ノ答案ヲ作スモノニシテ書中誤リナシト答フル免ヌガレガタシ
2. 午前6時30分
餘震数回アリ
其動数凡1晝夜45, 6回鳴響毎静山スル時間ハ概ネ1分50秒乃至3, 4, 5, 10分ヲ徑テ反復セリ之レ当日最モ強大ナルモノニシテ弱ナルモノハ未ダ静定セズ近頃ニ至リテハ1晝夜ニ1, 2, 3回其鳴動鳴響ハ家屋及ビ人耳ヲ撃ツ声音睡眠ヲ覺マシムル程ノコトニシテ若シ家屋動静如何ト天井ヲ注視スト言フヨリ外ニ出ズ
3. 長キハ6時間 短キハ30秒時程
4. 震動体ノ搏撃空氣波動ヲ人耳ニ達スル方向ハ全ク明了ナラザルモ皆土人ノ謂ヘルニ震動ノ反復每必ズ同一ノ方向ニ於テ実ニ空氣ニ搏撃ヲ傳ヘタルモノニシテ所謂温見熊河ヲシテ地震ノ中心ト見ナシ是ヨリ東南15里程ヲ距リ美濃ノ国岐阜辺ニテカ發震スル鳴動ノ來ル甚ダ迅速ニシテ方向一直線ニ能郷白山(当地大野郡西谷村ト美濃国大野郡及ビ本巢郡ヲ界スル大山)ヲ搏撃ス此山麓ヨリ稍々東ニ曲折シ猶ヲ山麓ニ沿ヒ走り方向本復シ而シテ温見ヲ衝空ス此ノ抵抗力ニ依ルカ是レヨリ震動2線ニ分レテ1ツハ西南戌ノ方今立郡字美ノ股峠

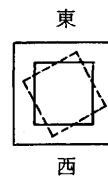
ニ走り1ツハ西北亥方上ノ庄村字宝慶寺へ傳送セリト然レバ方向斯ノ如ク聞ク処ニヨレバ東南ヨリ西北ニ擣ツモノナラン然シテ字中島ノ或ル人ノ謂ヘル余レガ地爐ニ茶釜ヲ掛ケ置キシガ此ノモノ振り搖ク事直垂心点ヨリ左右4尺合メ8尺バカリ東西ニフレシナリト則チ余レ其際在宅、宅ハ東西ニ長ク南北ヘ短ク然ルニ屋棟1尺余モ東西ニ振り動クコト一震ニツイテ5、6回ナル正シク見シナリ、最モ本村宮本氏ノ言ヘル最初震動ハ鳴動ヲ覺ヘズ偶然ユリ出スニ從ヒ既ニ地震ナル感覺アリテ后初メテ鳴動アリシト故ニ復退キテ問フ猶皆答フルモノ然リト然リ而シテ余ガ宅東西ニ動クコト正シキヲ見レバ此ノ方向確乎タリ又前顯東南ヨリ西北ヘ動ト云ヒシ断ハリハ実ハ岐阜ヨリ能々白山、温見、熊河、中島等皆東南ヨリ西北ニ当リ且ツ其ノ通路山間モ亦此ノ方向ニシテ此地ノ土人ノ各地所在凶災ニカ、リシヲ□目スル多キニヨリテ此ノ方向ヲ謂ヘルモノカ未タ各山嶺ヲ奔走シテ確實ナル方向ノ検査ハ未ダ為スモノアラズ

5. 動体ノ衝突ヲ以テ他物ヲ拍撃セシ撃力ノ強弱及ビ震動体1秒時ニ幾分ノ擣撃ヲ空氣ニ与フルガ如ク而シテ此ノ波動ヲ人耳ニ達スル撃数分量ノ如キモノ余レ其ノ項此ノ地不在ニシテ是レ正シク驗知スル能ハザレバ震動ノ高低等答案スル得ザルナリ殊ニ問題中ノ要件ナレバ他日編纂セラル、ニ当リ不都合ナル答案ヲ呈シテ却テ害アランコトヲ故ニ此ノ答案ヲ辞ス
6. 家屋ノ搖動ニ係ルモノ凡テ東南ヨリ西北ニ解レテ傾斜シ或ハ顛倒セリト其ノ他台上ニ安置スルモノ本村ニナシ
7. 地上ニ抛出サレタル物品ハ容量ヲ論ゼズ擲射ノ如顛倒ノ如、仰シ或ハ伏スガ如ク、物品ノ衝突互ニ抵抗シテ破碎セシガ如ク反撥シテ霰丸ノ飛散スルガ如キモノ種々様々其ノ状態実ニ目ヲ奪ハレ其ヲ轟カス程ノ場合ニテアリシト土人ノ謂ト雖モ誠ニ高低、方、回、等確實タル質問ヲ約ガタシ
8. 当地方ハ山間偏倚ノ地ニシテ湖池等ナシ稀レニ井水アリト雖ドモ其際目撃セシモノナシ当地其際ノ井戸濁ル云々ノ形状ヲ推シ量レバ必モ波動有リシナラン兎ニモ角ニモ直径3尺水面点深サハ一丈モアリ殊ニ農家ハ坑内暗ニシテ見ユコト難カルベシ
9. 岩石等ノ傾斜方向一ツナラズ多クハ低キヘ伏シ或ハ傾斜セリ而シテ其ノ位置ヲ転セザル部分ハ一方附着セル土ヲ離レ7、8寸程口ヲ開塞セリ余レ上穴馬等ノ山間街路ニモ亦所在ニ之レト同様ノ有様ヲ見タリ
10. 地震ハ28日ナリ 2日前即チ25日、27日微震アリ方向不分明
11. 家屋覆転概ネ西北道路方向ハ区々ニシテ確實ナル答辨ヲナシガタシ
16. 築堤ハナシ所在山間ノ面腰一帯目視ヲ得ル処多ク崩壞巾ハ1町或ハ3、4町上下ハ3、2町許リ故ニ他日修繕ニ依ラザレバ通路通行ヲ為シガタキ所モ各地ニアリ
17. 泥砂噴出ナシ井水ハ其際ハ濁リシ由ナリ水質水量ハ敢テ異ナルコトモナキコト、想像ス
19. 一時ハ水ハ白色ヲ帶ベリ殊ニ温見、熊河、川ノ水源及ビ山間谿谷ヨリ出ル川流泥水其後濁水未ダ白色ヲ帶ビ降雨ノ日ハ泥流ス、是レ地下頗ル異変アルコトヲ考ヘラル然レドモ平年何地ニ限ラズ強降雨ニ於テ泥水流ル、モノナルガ是レ他界山地ト比較上ノ謂ニシテ大ニ異なる所謂ナリ最モ温見、熊河、中島山地ハ地面ノ破裂別圖ノ如キノミナラズ所々、2、3、4、5、6寸程裂ケ或ハ(グズ〜)ト浪ヲ現ハセシヲ以テ雨氣ト雖モ泥水ノ流ル、ハ是レラノ然ラシムル理由モアラン水量ノ増減ハ未ダ謂フ者ナシ

20. 別紙圖式ノ如ク虧裂セシ処ヨリ其際茶色ノ如キ水ヲ噴出セリト
 21. 震動ノ際犬等ノ吠ユルヲ聞ケドモ別ニ感覚ノ咄ヲ聞カズ
 24. 温見、熊河辺ハ非常ニ鳥等鳴キ声ス發震前ニ聞クト是レ鳥獸ハ幽界ニ近キモノナレバ自然
 將來ノ變動及ビ吉凶ノ兆瑞ヲ知り以テ感覚力ヲ為スルモノナリトノ説ヲ聞ク
 右ノ通りニ御座候、扱答案者教員職ニ在リ殊ニ短日彼処此処ト奔走シ強ヒテ是等ノ明
 細ナル状態ヲ考フル態ハザレバ説明中不計虚ニ渉ル処モ若クバアラン唯土人ノ談ノマヽニ
 ～ヲ記スルニ過ギズ

298

1. 福井縣今立郡鯖江町 役 場
 2. 午前7時
 4. 或ハ西南或ハ東或ハ東南ト云フモノアリ当時倉皇跳出方向ヲ定ムルノ遑ナキモ后日ノ餘動
 ニ考ヘレバ東南ナリ
 6. 動搖ハ地盤ノ硬軟ト平不平ニヨリテ一定セズト雖モ壁ノ剥落シタルハ北面ニ多ク南面ニ寡
 ク東面ハ虧裂ヲ生ジタリ鳥居一基東ニ傾キタルアリ石燈籠ハ東ニ北ニ倒レタル多シ
 8. 湧泉ハ西ノ方ヨリ傾斜シテ高サ6尺斗リノ波動ヲ起セリ
 9. 石碑台石ノ移動ハ東北 西南
 17. 震災前ニ増量シ震災後ニ減量シ近時再増加スルアリ
 震災ニ凡ソ1尺5寸ヲ増シ又2尺乃至3尺ヲ減ジタルアリ
 一時白濁ヲ生ジ日ヲ経テ旧ニ復シタルアリ
 水質ハ異リシモノナシ
 24. 前日後5時比無風ニシテ煙靄深ク夜ニ入り暖雨本日曉來温度高ク肌ニ汗バムヲ覺エタリ
 6月10日ノ夜半天大閃々空中ヲ飛ビ10分余ヲ経テ大砲ノ如キ響アリ全夜金澤ニテハ大火
 玉東天ニ現レテ金石ノ沖ニ落タル事ハ当時新聞ニ記シテ地震大風海嘯ノ兆トナセリ



299

1. 福井縣今立郡片上村別所 山 口 静
 2. 旧明ヶ六ツ頃即チ午前7時3分、7分、12分
 餘震アリ
 3. 最初3回ノ間凡10分
 4. 南東ヨリ西北 其証タル架上ノ器物置物等東南へ倒落ス
 7. 数百餘尺ノ山腹ヨリ(高サ4尺5尺四方位ナル)岩転落ス、其処ノ高サ2丈計リニシテ行
 程2□丈麓ノ川辺ニ止ル
 10. 最激震前ニハ鳴動ヲ覺エザルモ激震後各震動前(ドーソ)ト遠ク大砲ヲ聞クガ如キ響ヲ東
 北ノ山ニ当テ聞ユ
 15. 長7、8尺、幅3、4寸、深サコレヲ尺量セズ東北ヨリ南西ノ方向ニ裂3、4ヶ所アリ
 17. 山辺殊ニ赤土地ノ如キ井水ハ濁リテ50餘日清シ切ラズ
 21. 家禽ノ如キハ翹タントシテ翹得ズ蹶蹶スルノ有様ナリ

12. 我村落東北西南皆山ヲ負ヒ西南方開ケテ田野ニ面スルノ僻所ニシテ砂沃土ナリ

302

1. 福井縣丹生郡天津村 役 場
2. 午前6時45分大震動 小震数十回
4. 東南ヨリ発ル
5. 地上波動状アリ田野ノ浸水為メニ濁水トナル震動ノ高低長短不詳
6. 家屋転倒ニハ及バザルモ或ハ傾屈シ壁剥落セシモノ多ク就中南面スル家屋ニ障害多シト言フ
9. 藍牌傾向ノミ顛倒スルモノナシ
10. 27日晝夜2回小地震アリ鳴動ハ28日激震後東ニ小雷鳴止マザルモノノ如シ
11. 家屋ノ傾向ハ処々不同ニシテ一様ナラズ
13. 地形東ハ日野川ニ臨ム長經1里余一帶川沿ニテ百軒内外ニ陥没ノ地数ヶ所深1尺ヨリ2,
14. 3尺ニ達シ亀裂地数百ヶ所幅1尺ヨリ4, 5寸迄長サ5, 6間ヨリ2, 30間迄ナリ
15. 井戸水動搖アリ為メニ該目ハ多ク濁水トナリ或ハ増或ハ減然レドモ4, 5日ニシテ亦元ニ復ス
17. 泉水一時減耗シタルモノアレドモ多少元ニ復ス中々ヶ所ハ20日余モ白水ヲ噴出シ漸ク清水トナルモ幾分減水セリ
18. 川流ノ水量頓ニ5, 6寸増シ又直ニ減水ス列ニ異状ナキモノノ如シ
19. 土地亀裂ノ長經ハ南北ニシテ東南モ随所アリ頓ニ泥水土砂ヲ噴出スルコト殆ンドポンプノ如シ然レドモ30分間或ハ50分間ニシテ止ミ青砂5, 6寸ヨリ尺餘モ塊積スルアリ

303

1. 福井縣丹生郡朝日村西田中 郡 役 所
2. 震動ノ数多クシテ一其時刻ヲ掲グルコト難シト雖モ大抵6時前後, 12時前後ニ多クシテ震動亦強シ
3. 強ナルトキハ3分或ハ4分間許リニシテ弱ナルトキハ数秒ニ過ギズ
4. 大抵東内ヨリ来ルモノ、様ナルモ時トシテ北又ハ西ヨリ来ルモノアル様ニ考ヘラル
6. 家屋其他ノ建物ノ動搖方向多ハ東南ヨリ西北ニ掛ケ動搖シタルモノ、様ナリ石塔籠, 石塔等ノ動搖又同ジ転倒ノ方向ハ一様ナラズ
15. 地面虧裂ハ小部分アリ方向一定ナラズ
20. 虧裂ヨリ少シク泥水砂ヲ噴出セシ箇所アリシテ一日ヲ出デズシテ止ム

304

1. 福井縣丹生郡立待村松本 松村庄右エ門
2. 午前6時30分
3. 凡5分間
4. 亥巳

6. 家屋等ノ動搖及転倒セシ方向ハ西ノ方
7. 抛出サレタル物品アレドモ高サ及其巨離等記載スル程ノコトニアラズ
8. 井ノ水波動凡ソ高サ2尺方向乾巽周囲7尺
10. 最激震ノ前鳴動ハゴ—ット云フ響ニテ亥巳ノ方角ヨリ来リシト考ヘラル
11. 倒家アリト雖モ街路ニ倒レズ

305

1. 福井縣丹生郡^{四ヶ浦}_{上岬}村組合役場 清水藤三郎
当地方ハ微震ニシテ聊モ震災ニ罹リタルモ無之儀

306

1. 福井縣南條郡鯖波 郵便局長 米野吉兵衛
2. 午前6時40分ヨリ突然震動ヲ発シ強震凡ソ5分間其ヨリ数回引續キ10分乃至20分間ヲ経テ震動ス小震1日ニ23回今ニ止マズ
3. 震動時間ハ鳴動中凡2, 3分ヨリ5分間迄トス
4. 震動ハ東北ヨリ發ス
5. 地上ニ波浪凡2, 3寸アリト覺ユ
6. 家屋土蔵ハ四面壁ヲ墜落セシ箇所数ヶ所アリ石燈籠, 石塔ハ直ニ動搖申西ニ向テ大概転倒ス
8. 沼池或ハ井水ハ鳴動毎ニ波動ヲ生ジ一時減水ス
4, 5日或ハ10日間ヲ経テ漸ク復古ス
10. 最激震前ニ東北ヨリ兆候アルヤ否鳴響震動ヲ変スト思考ス
17. 井水ハ震動スルヤ俄ニ水量ヲ減ジ直ニ濁水ヲ帶ビテ水質ニハ別ニ變動ヲ生ズルコトナシ
10日間ヲ経テ清水トナル
18. 泉水ハ一時水量ヲ減ズルモ10日間ヲ過ギテ漸ク湧出タリ 其他新ニ湧出タルコトナシ

307

1. 福井縣南條郡河野村大良 中川来三
2. 午前6時40分震動ヲ始メ同日数回震動アリ
3. 5分間
4. 東北ヨリ西南ニ震フ
8. 池水ノ波動ノ高サ5寸西南ヨリ北東ニ長ク
10. 大砲ニ連發スルヲ遠所ニテ聞ク如クノ響聲アリ東南ノ方ヨリ来ルト考フ
11. 家屋ノ傾斜ハ西南ニ3, 4分家屋傾斜ス
17. 28日激震後当地ニ於テ2, 3ヶ所ハ水量1尺余減ズ

308

1. 福井縣南條郡今庄村 富山友四郎

2. 午前7時30分
餘震有
3. 3分
4. 震動ノ方向ハ西ヨリ東ニ渡リタルモノナラン是レガ觀測ヲ下セシハ本村酒造家数家アリシガ其清酒ハ10石内外ヲ容ル、桶ニ貯藏スルニ其桶動搖シ凡ソ其蓋目張（目張トハ桶ト蓋トヲ堅牢ナル紙ニテ貼付ス）ヲ破リテ各6、7寸東方ヘ□去リタリ
6. 石燈籠及石塔ノ轉倒ハ東方ヘ向テシタリ
16. 築堤ノ崩壞セシモノ凡ソ百坪

309

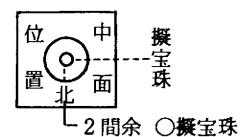
1. 福井縣南條郡北柚山村 山本作五郎
2. 午前7時
3. 40分
4. 南
10. 最激震ノ前ニ鳴動ハ北ノ方ヨリ来リシト考フ

310

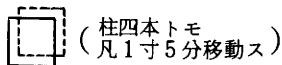
1. 福井縣南條郡今庄村
2. 午前6時30分、40分、7時20分、7時30分
3. 4分
4. 東ヨリ西ニ至ル
6. 家屋其他ノ搖動巽ヨリ良、石塔轉倒ノ方向西
8. 池井ノ水動波高サ5、6寸
17. 井水西側家屋処々水量4、5寸ヲ減シ東側3、4寸ヲ増セリ
18. 泉水涸渴シタルモノ一ヶ所
21. 牛馬ハ勿論空中翻飛ノ鳥モ正ニ落チントスルノ感覺アリタリ

311

1. 福井縣南條郡武生郵便電信局長 内田謙太郎
2. 午前6時15分頃ト覺ユ而シテ同時刻ヨリ同日午後3時40分迄ニ強弱震度138回（時刻記載ナシ）猶引續震動セシモ回数不詳
3. 3分
4. 東南ノ方向ヨリ起リ西北ニ涉ル
5. 地上ニ波浪状ノ震動ハナシ
6. 家屋其他石燈籠石塔等ノ動搖及轉倒ハ何レモ北ニ向フ
9. 其顯著ナルモノハ当武生町字橘ニ設置アル銅燈籠ノ屋根ニアル擬宝珠ノミ轉



落セリ其ノ形圖ノ如シ

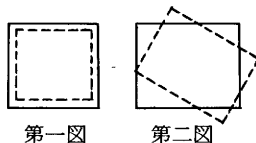


空町末廣六十三番地寺院ノ表門顛動ス其形圖ノ如シ其他家屋ノ半潰土藏ノ壁破壊セルモノ
アルモ実地目撃セザルニ依リ畧ス

17. 第27ニ記載ノ如ク異変アリテ激震後濁リシモノ 50余ヶ所アルヲ聞知候得共3日或5日以内ニ復ス
21. 激震ノトキ猫犬等ノ家畜類ニ与フル感觸ヲ勘フルニ其際猫ハ椽ノ下ヘ逃込犬ハ一足ニ一間余モ飛去リ茫然天ヲ眺メ居リシハ余程驚絶セシナラント思料ス 余ハ記憶ナシ
24. 10月25日頃ヨリ井水ノ濁リシモノ(当町ニ掘井戸2,500斗リノ内)15, 6ヶ所アリシコトヲ聞ケリ是震動ノ前兆ニモアランカト大震後ニ心付候

312

1. 福井縣南條郡武生町吾妻 土 生 忠
2. 午前6時35分初回強震引續數回微強交々來ル
午前10時ニ到リ漸ク間斷セリ
3. 2分間強 第2回, 第3回ノ震動ハ初回ノ震動ニ引續キタルガ如シ故ニ或ハ3, 4分間震動セルモノノ如ク覺フモノアリシナラン
4. 北ヨリ來ルガ如シト覺ユ
5. 予ガ庭邸内ニ幅2尺高2尺長20許リノ茶株東西ニ亘リタルアリ避ケテ其傍ニ在リタルニ茶株ハ波動狀ヲ為シタリ譬ヘバ蛇ノ急進スルガ如キ狀ヲ見タリ
6. 桁際ニテ一尺許リ南北ヘ動搖シタリト覺フ石燈籠ハ春日形ノモノハ10中7, 8迄転倒セリ南ヘ倒レタルモノ多シ石塔ノ類ニシテ臺石ノ築造堅牢ナルモノハ転倒少ナカリシ酒, 醬油, 酢, 油, 藍瓶等ハ其容量7分目以上ハ波動ノ為メ溢出セリ
8. 池或ハ井ノ水ハ波動ヲ起シタリ 波動ノ高サハ岸ヲ打ツコト尺餘ナリ池水井水トモ一時薄濁セリ
9. 当町ノ南1里許日野山ノ麓ニ日野神社アリ境内ノ在ル大石燈籠火袋ヨリ上旋回シタルモノ2個アリト高山ノ大麓等ニハ旋回動アルモノニヤ
圖ノ如ク墨線ノ位置ヲ点線ノ位置ニ旋回シタリ
10. 最激動ノ前ニ微動ナシ鳴動アリシ而巳其響ハドドド…… ト聞ヘタリ北方ニ始マリタルト覺フ



313

1. 福井縣南條郡南山山村 役 場
2. 午前6時30分
3. 凡5分間
4. 東北ヨリ發ル
6. 家屋其他石燈籠, 石塔等ノ方向ハ東西ニ動搖ス

314

1. 福井縣敦賀郡東浦村赤崎
2. 午前6時38分
3. 大凡6分
4. 東北ノ方位ヨリ西南ニ向ッテ震動スルガ如クニ覺ユ
6. 南北ニ動搖シ其震度ハ柱礎ヨリ凡6尺ノ処ニ於テ3寸2分ノ搖リアリ又石燈籠、石碑等ハ多ク北ノ方ヘ転倒セリ
10. 怒濤ノ岩石ニ激スルガ如キ響キヲ聞クヤ直チニ微動ヲ起シ尋テ大震動セリ

315

1. 福井縣敦賀郡敦賀町富貴
2. 午前6時20分
餘震アリ
3. 5分余
4. 南東
5. 地平動ニシテ聲響アリ時々上下動ヲ交フ
地上波浪状ヲナシ震動中歩行等ハナシ
6. 家屋ノ傾斜セルモノ概ネ南北ノ通路ニ沿ヘルモノニ多ク又墻塀石垣等ノ転倒セルモノ其数多ク其方向モ区々ナリト雖モ大抵北或ハ東南ノ方位ニ向ケリ其倒レザルモノハ台石ヨリ5、6寸モ距テルヲ見ル
7. 本郡東浦村赤崎ニ於テハ高サ6尺ノ処ニテ3寸2分ノ搖動アリ
10. 動搖ノ前ニハ必ズ鳴響アリ其方向ハ起震ノ方位ト同ジ
15. 地面ノ亀裂セルモノ2ヶ所アリト雖モ甚ダ狭少ニシテ漸ク1、2寸隙罅ニシテ長4尺ヨリ6間ニ及ブ但シ噴出物ヲ見ズ
17. 井水ハ一時灰色ノ濁水ニ変ゼシモ多クハ暫時ニシテ清メリ堀抜ハ一時潤渴セルモノ数ヶ所アリシト雖モ是又少焉ニシテ復旧セリ其儘ニ復旧セザルモノ本郡敦賀町ニ於テ2ヶ所アリ
19. 川流ハ恰モ水盤ニ盛りタル水ノ如ク兩岸震搖ノ際中央ニ相激衝シ横ニ波浪ヲ生ジタリシモ水量ニ異変ナシ
22. 大震后入船セン船夫ノ言ヲ聞クニ震動ノ際10数里ノ沖合ニ於テ突然山ノ如キ大波突現シ恰モ砂洲上ニ打上ゲラレシ如キ聲響アリ之ヲ見ルニ水中一面ノ淡白色ヲ呈ス須臾ニシテ悉ク清ミ渡リ平穩ニ復セリト

備考 本郡震災ハ東部山麓ノ町村ニ多クシテ西方ニ位セル村落ハ其害少ク石燈籠ノ転倒ス
ラナキヶ所アリ

316

1. 福井縣敦賀郡中郷村道口 湊 為 三
2. 午前6時30分 大震爾後全日昼夜ニ小震80余回ニ及ブ然レドモ時刻ハ記憶セズ

3. 5分
4. 艮ノ方ヨリ坤ノ方向
6. 艮ト坤トニ動搖シ石燈籠等ノ倒レシモノ多クハ坤ノ方ニ向ケ転倒セリ
8. 村内各戸ノ井ハ径3尺余ノ円形ニシテ浅深ハ地形ニヨリ一様ナラズ最浅ハ7尺最深ハ1丈2尺余ニシテ各波動アリテ其音ヲ聞キシモ波動ノ高サハ檢セズ且浅キ分ハ濁水トナラザリシモ深キ分ハ各一時濁水トナリ午後ニ至リ清水ニ復ス
10. 最激震ノ僅カ前鳴動アリ其響汽車15, 6丁以外ヲ駛スル音ノ如ク艮ノ方ヨリ来リシト考ヘラル

317

1. 福井縣敦賀郡松原村 役 場
2. 午前6時20分
3. 10分
4. 南北
6. 家屋石燈籠動搖及ビ転倒ノ方向 南北

318

1. 福井縣敦賀郡敦賀町字神樂 電 信 局
2. 午前6時35分
餘震数回アリシモ記憶セズ
3. 4分
4. 東西
6. 家屋其他石燈籠, 石塔等ノ動搖ハ東西ニシテ其転倒ニ係ルモノハ大抵東ヘ向ヘリ尤稀ニハ反対ノ方向ニ倒レタルモノアリ
10. 激震前微動又ハ海ノ鳴ル如キ鳴動アリ其方向ハ西北ヨリ来リシモノノ様考ヘラル
17. 井水ハ激震ノ為メ一時多少水量ヲ減ジタルモ漸次旧ニ復セリ又稀ニハ震動后却テ以前ヨリ水量ヲ増シタル処モアリト云但水质ニハ異動ナシ

319

1. 福井縣敦賀郡立石岬燈台 渡 辺 兵 之 助
2. 午前6時45分 強, 烈, 激 三回
3. 10分
余余震数10回アリ
4. 南西, 東
6. 家屋内ノ水漉, 火舎転倒ス其方向ハ南西ニ倒ル
10. 最激震前近傍ノ山岳鳴声恰モ遠雷ノ如キ響ニシテ南西ヨリ来ル
24. 震動ノ前兆トスベキモノハ26日午後11時30分ヨリ翌27日午前3時10分迄南東ニ方リ不断電光閃ク其他異状ヲ見ズ

320

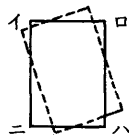
1. 福井縣敦賀郡本郷村越坂
2. 午前7時30分
3. 5分

東郷村大字越坂地籍字ナマス峠ノ麓全紫山アリ此山ノ地質赤壁土ニシテ(ツヤ)ナシ所々ニ巖石アリ然ル所今回ノ地震ノ為メ該山ノ嶺ヨリ巖石目方400貫匁斗リノ大石ヲ路傍ニ崩落ス依テ将来ハ該山ノ麓ニ人家及耕作小家等ノ建設ヲ稍忌ムノ感ヲ懷ケリ

全村字区長奉職セル屋敷定吉所有ノ土藏今ヨリ30年以前ニ建設セシモノ今回ノ地震ノ為メニ壞壁セリ因テ其原因ヲ推考スレバ構造ハ至極堅牢ナルモ該土藏ノ隅ニ方リ周リ1丈長サ3尺余リノ柿ノ大木アリ之レガ震動ニ振レ壞壁ノ害ヲ被リタルナラン然レバ将来ハ大木ノ根本ニ於テ建物ノ構造ハ稍忌ムノ感ヲ懷ケリ

321

1. 福井縣坂井郡金津町郵便局前 坂井太之介
2. 午前6時45分 劇震
(餘震5時刻アリ)
3. 7分
4. 東北ヨリ来ルト思考ス
5. 地上ノ震動方ハ平面動ニシテ少シク波浪状アリ高低ハ5分位ニ止ル方向ハ南北又ハ東西ニモ少シク動搖セリ
6. 家屋其他石燈籠等動搖及転倒ノ方向 家屋ハ南北ニ動搖石燈籠等ハ東ノ方ニ転倒セリ併シ台石等ノ位置ニヨリ少シク方向ヲ換ヘ転倒セシモノアリ即チ西南ニ転倒シタル物アリ
7. 抛出サレタル物品ノ高サハ位置ノ高低ニヨルト雖モ例ヘバ高サ3尺ノ所ヨリ抛出サレタル物ハ2尺5寸位ノ距離ニ抛ラレタリ
8. 井ノ水ノ波動アリシ高サハ4, 5寸位其他酒, 醬油等ノ溜桶ニ波動アリ溢出シタル物アリ高サハ2, 3寸形状ハ概シテ円形ナリ然シテ「井」ナレバ周囲1丈位ノ池側ニ溜水アリ深サハ平地ヨリ水面迄1丈程アリ酒, 醬油等ノ桶ノ周圍ハ6尺位有
9. 石碑ノ台石等ノ移動セシモノアリ右圖ノ如シ
10. 最激震即チ初震ノ前ニ大鳴動アリシ其鳴動ノ響音ハ田舎ニテ小白ニテ穀類ヲ粉碎スル様ナリ然シテ東北ノ方ヨリ来リタリト考ラル
11. 街路ニ家屋ノ倒レシモノアリ其街路ノ方向ハ東西ニ延ベ顛覆ノ方向ハ北ナリ
14. 土地少シク虧裂セシ所アリ然レドモ余リ事少シテ畧圖ヲ用ユル程ノ感無之ニ付下ニ景況ヲ陳述ス
土地虧裂セシ所ハ各所3尺程地中ニ在ル「井」源ノ為メニ平常其所ヲ開鑿シタル所ナリ長サハ2間位繼續セリ深サハ3寸位アリ
17. 井水ハ少シク濁レリ, 然シテ少シク増水セリ



ロ印ノ方角ハ南
ハ印ノ方角ハ北

19. 河流ノ水量少シク増セリ
21. 犬猫家禽等ハ概テ驚怖シ人類ニ近カラントセリ然ル能ハザルトキハ或一隅ニ蟄居シ感覚ハ余程驚怖ノ体ナリ

322

1. 福井縣大飯郡本郷郵便局長 香川平造
2. 午前7時15分
3. 5分
4. 東西
6. 納屋全潰シ1ヶ所屋根瓦東西ヘ向ケ倒ス其他壁庇等2ヶ所ノ大破アリ石燈籠、石塔等ノ事不詳
8. 水量ノ増減等ハ著シキモノナシ多少濁水シタルモ1日ニシテ復ス
10. 東北ヨリ鳴響甚シ
15. 海埋田地東西南北2間乃至9間継損7ヶ所アリ巾1寸5分乃至2寸深サ4尺乃至7尺裂口ヨリ泥水ヲ噴出ス
17. 掘貫170ヶ所濁水トナリシモ3分ノ1ハ濁ノ無シ暫時デ元ニ復ス桶又ハ箱等ノ水溜紺屋ノ藍瓶等波動凡1尺内外ナリ
20. 緒色の泥砂噴出ス
21. 激微共ニ感アリ

本日迄ノ微震ハ87回内著シキモノ12回ニシテ震動時間ハ1分間以内

12. 平地ナリ

323

1. 福井縣三方郡 早瀬郵便局長 玉井玉市
2. 午前6時40分 激動1回
後子微動1日間ニ15回程
3. 5分間 微動數回ハ1分～2分
4. 北方ヨリ南方
6. 家屋石燈籠等南北ニ動搖スルモ転倒セルヲ不聞
8. 湖ニ波動ヲ生ズ5寸乃至1尺ノ高低南北ニ動搖ス最モ激波ノトキハ該湖ニ生ス諸魚ノ内小鱸騒走り湖岸ニ飛ビ転倒シタリ別紙第2圖ノ通り日向湖周囲1里久々子湖周囲1里半
10. 26日午後10時微動凡1分間又28日激動ニ先チ北方ヨリ来リ海底鳴ルガ如シ
15. 日向湖岸 長サ130間 深サ3尺 一ヶ所 南北ニ裂ス
長サ3間 深サ3尺 一ヶ所
21. 犬猫彼是走ラントス鳴動毎ニ雉子鳴ク

324

1. 福井縣遠敷郡安賀里 郵便局長 山本久米治郎

2. 午前6時30分 強震
3. 5分
4. 西南ヨリ東北へ
6. 土藏ノ古壁墮落3ヶ所其他壁割多シト雖モ其数詳ナラズ
石燈籠1ヶ所根石西南ノ方へ凡ソ2寸ヲ転ズ
8. 溜池ノ周囲凡ソ10間ニ対シ波動高サ3寸清水池2ヶ所乾キ3日間ヲ経テ常水ニ復ス
但此周囲凡6間水量1尺余
10. 西南ヨリ雷鳴ノ如キ音響アリ
12. 山間

325

1. 福井縣三方郡八村三方 石 黒 光 信
2. 午前7時10分
25日午後9時50分ヲ初回トシテ11月30日迄大小52回ノ震動アリ其最モ強震ハ28日午
前7時10分ナリ
当地ノ震動時間ハ2秒乃至5秒ニシテ何レモ震動ト共ニ稍雷ノ如キ響声ヲ呈シ其動搖ノ方
向響声ノ方向等ハ最激震ト大同小異ニテ其解説ヲ省略致候
3. 3分
4. 始メハ西北ヨリ南東ニ后ハ西ヨリ東へ動搖セリ
5. 2寸余ノ高低ヲ覺タリ
6. 東ヨリ西へ 家屋転倒ナシ
8. 凡ソ5寸ノ高低ヲ顯シタリ
10. 最激震前ニ2回ノ微動アリ亦激震3秒時間前ニ大砲声ノ如キ鳴響ヲ發シ而シテ動搖ヲ始タ
リ
17. 水量ハ總テ減水セリ噴出等ハ一切無之

326

1. 福井縣三方郡八村三方 村長 須 磨 廣 之
2. 午前6時40分
3. 3分
4. 東西
5. 2寸
6. 動搖東西、轉倒西
8. 高サ5寸 方向東西
10. 微動セリ、鳴動ハ遙遠地ノ大砲聲ノ如キ鳴響アリ
18. 増水セルアリ減水セルアリ砂礫ヲ数尺ノ高キニ飛騰スルモノアリタリ

327

1. 福井縣三方郡山東村山上 村長 角脇孫左エ門
2. 午前6時40分
3. 3分
4. 東西
5. 2寸
6. 動搖東西, 転倒西
8. 高サ5寸 方向東西
10. 微動セリ, 鳴動ハ遙遠地ノ大砲声ノ如キ鳴響アリ
17. 増水セルアリ減水セルアリ砂礫ヲ数尺ノ高キニ飛騰スルモアリタリ

328

1. 福井縣三方郡十村岩屋 村長 今村忠兵衛
2. 午前6時40分
3. 3分
4. 東西
5. 2寸
6. 動搖ハ東西, 転倒西
8. 高サ5寸, 方向東西
10. 微動セリ, 鳴動ハ遙遠地ノ大砲声ノ如キ鳴響アリ
17. 増水セルアリ, 減水セルアリ, 砂礫ヲ数尺ノ高キニ飛騰スルモアリタリ

329

1. 福井縣三方郡西郷 村長 丸安伊右衛門
2. 午前6時50分 激震1回
3. 5分
4. 北ヨリ南方へ
6. 家屋其他ノ建物ハ北南ニ動搖セリ
8. 湖ニ波動アリ(最高凡ソ1尺, 最長凡ソ1丈)ニシテ北南ニ動搖セリ
日向湖凡ソ1里(周囲) 久々子湖周囲凡ソ1里20町
10. 微動26日午後10時ヨリ1分間
鳴動北ヨリ来リ海底鳴ノ響ニ感ゼリ
15. 長サ130間 深サ3尺 1ヶ所 方向南北ニ裂ス
長サ 3間 深サ3尺 1ヶ所
21. 牛馬稍騒グ犬猫走ラントシテ転ブ家禽啼止ム
24. 数夜犬ノ長吠ヲ感ゼリ

330

1. 福井縣三方郡耳村役場 伊藤 宗助
2. 午前7時30分
其後ノ震動數10回
3. 5分
4. 西北ヨリ東南ニ
6. 家屋ノ転倒ナシ石燈籠ハ多ク東西ニ倒レタリ
7. 高サ6尺ノ処ニ安置セシ神棚7尺ヲ距テ抛出セラレタリ
8. 池水ノ波動高5, 6寸, 長5, 6尺ニシテ西ヨリ東ヘ波動セリ方2間半ノ小池ナリ
10. 鳴動微震ノ後激動セリ響ハ雷鳴ニ似テ西北ヨリ東ヘ至リシト考ヘラル
21. 鶏ハ屢々鳴キ東ニ向ヒ飛行ス
24. 拂曉ヨリ非常ニ霧厚ク何トナク不快ノ感アリ

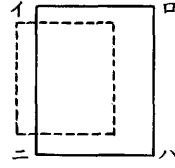
331

1. 福井縣遠敷郡奥名田村坂本 郵便局長 細川上左衛門
2. 午前6時15分 今日マデノ微動60數回
3. 7分
4. 東西
6. 家屋東西ニ震動シタルモ圧倒地面ノ破壊等ノコトハナシ
19. 28日午前6時15分震動ノトキヨリ当区内奥名田村字口坂本ニ於テ1ヶ所河底ヨリ水ヲ湧出シ水面上ニ沸騰シ漸々微弱トナリ終ニ5日間ヲ徑テ止ム
24. 10月20日頃則チ震災7, 8日前当区内奥名田村字下ニ於テ井戸ノ水濁リ凡2日間ニシテ清水ニ復シタルハ全く震動ノ前兆ナリシト推考ス尤モ浅キ井戸ニハ此異状ナキ方ニシテ深サ4, 5仞以上ノモノニ多シ

332

1. 福井縣大飯郡高浜 郵便局長 廣野 岐
2. 午前7時17分
強震後輕震頻繁ニシテ本日マデ86回ノ震動ヲ感ズ其ノ時刻アリ
3. 5分
4. 東ヨリ西ヘ
5. 東西ニ少シク波浪ノ状アルヲ認ムルモ其高低長短ハ詳ナラズ
6. 納屋全潰 1ヶ所 但瓦葺
屋壁并ニ庇大破 2ヶ所 但倒潰ニ至ラズ
石燈籠 10 転倒
墓碑 37 転倒
8. 多少ノ波動アルモ其状詳ナラズ
溜池1ヶ所濁水トナリ水量5寸余減ジテ2日間ヲ徑テ元ニ復ス

9. 震動ノ為メ移動スルコト3寸
10. 激震前東北ヨリ雷鳴ノ如キ音響アリ
15. 海面埋立ノ地1ヶ所東西9間南北9間巾2寸
縦横ニ裂ル深サ詳ナラズ
17. 井戸1ヶ所地震起ルト同時ニ濁水シ2日間ヲ経テ元ニ復ス
18. 掘貫170ヶ所地震起ルト同時ニ濁水トナリ稍増加ス
此内13ヶハ10時間ヲ経テ元ニ復ス 余ハ30分間乃至1時間ヲ経テ元ニ復ス
20. 赭色ノ泥土ヲ噴出ス
21. 震動ノ際ハ何レモ感ジアリ
23. 轟々タル響ト共ニ波浪高低稍甚シクテ船体ヲ動搖スルヲ覺ユルノミ
尚、納屋1ヶ所ハ南東ニ向テ潰倒ス、石燈籠并ニ墓碑ハ東又ハ東北ニ向テ転倒地面ノ虧裂
深サ8尺

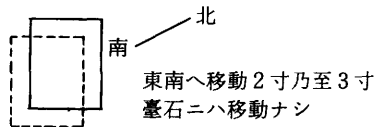


333

1. 福井縣大飯郡高浜村 高浜警察署
2. 午前7時
全日中小震動10数回アリシモ時刻等不詳
3. 7分
4. 西 東
6. 石燈籠転倒ノ方向一様ナラズ或ハ東、或ハ南或ハ東北等ナリ
20. 泥砂或ハ水ヲ噴出セリ
24. 前日27日ヨリ暖氣ナリシノミ

334

1. 福井縣大飯郡 郡役所
2. 午前7時17分
余震数回アリ 時刻表アリ
3. 5分
4. 東ヨリ西へ
5. 東西へ少シク波浪状アルヲ認ムレドモ其高低長短ハ詳ナラズ
6. 瓦葺納屋(3間ニ3間)1棟東南ニ向フテ潰倒ス
石燈籠10個墓碑7個東又ハ東北ニ向フテ転倒ス
此他棚上器物ノ転落又ハ屋壁等ニ從2尺乃至3尺程ノ罅隙ヲ生ジタルハ数ヶ所アレドモ
皆大破ニ至ラズ而シテ其罅隙ハ東側ニ多キヲ見ル
9. 東南へ移動2寸乃至3寸
臺石ニハ移動ナシ
10. 東方ヨリ遠雷ノ轟クガ如キ
響キアルト共ニ地震起ル
15. 和田村大字和田ニ於テハ東西9間南北9間縦横ニ裂ル



巾 2 寸深サ 8 尺赭色ノ泥水ヲ噴出ス此地ハ今ヨリ 15, 6 年以前海面ヲ埋立テタル砂地ニシテ地質最モ鬆軟ナリ

本郷村大字本郷ニ於テハ西南ヨリ東北ニ向フテ 3 間乃至 8 間ノ裂隙 7 ヶ所アリ巾 1 寸 5 分乃至 2 寸深サ 4 尺乃至 7 尺灰色ノ泥水ヲ噴出ス此地ハ北ニ向フタル海浜ニアル平地ノ田面ニシテ土質ハ粘土ナリ

17. 内浦村山中ノ溜池 1 ヶ所平素深サ 1 尺 5 寸ノ処 5 寸余ヲ減ジ濁水トナル又同村大字神野ニハ井戸 1 ヶ所濁水ス

右ハ地震ノ起ルト同時ニ変状ヲ現ハシ 2 日間ヲ徑テ各元ニ復ス此地ハ海湾ニ沿フタル山間ノ村落ニシテ岩石多キ所ナリ

本郷村大字本郷ノ掘貫泉水 170 ヶ所何レモ地震ノ起ルト同時ニ濁水トナリ水量稍々増加シ 1 時間乃至 10 時間ヲ經テ皆元ニ復ス本郡内此部落ノ外ハ掘貫ナシ且同村ノ井戸ハ異変ナシ此地ハ北ニ向フタル海浜ニ接シタル平地ナリ

21. 家鷄ハ蹠踏トシテ駆回り鳥雀ハ飛翔スル能ハズシテ屋上又ハ地上ニ倉皇ス雉子頻リニ鳴ク
 23. 轟々タル響ノ起ルヤ波浪突起シテ暫ク船体ノ動搖激シキヲ覺ユ
 24. 25 日午後 9 時 50 分微震アリ震動凡ソ 10 秒間